

分野	項目	内訳	単位	セキュリティ事業グループ	
				2013年度	2012年度
環境	排出量	GHGスコープ1+2総排出量	千t-CO ₂	56.76	56.87
		うちGHGスコープ1	千t-CO ₂	28.25	28.18
		うちGHGスコープ2	千t-CO ₂	28.52	28.69
		GHGスコープ3	千t-CO ₂	222.09	204.87
		車両の使用に伴うGHG排出量	千t-CO ₂	26.47	27.37
		従業員の出張・移動に伴うGHG排出量	千t-CO ₂	0.85	1.08
		エネルギー	エネルギー消費量合計	GJ	940,496.74
	電気	使用電気量	MWh	51,846.14	51,231.55
		再生エネルギー使用量	MWh	2.00	2.00
	燃料	燃料使用量 - 石炭・褐炭	千t	0.00	0.00
		燃料使用量 - 都市ガス	千m ³	223.90	223.80
		燃料使用量 - LPG	千m ³	29.90	27.475
		燃料使用量 - 灯油	千L	397.51	408.91
		燃料使用量 - A重油	千L	34.85	16.70
		燃料使用量 - 軽油	千L	1,008.98	882.37
		燃料使用量 - ガソリン	千L	10,219.05	10,584.66
	燃料使用量 - ヘリ燃料	千L	63.85	46.42	
	水	水資源投入量(取得量)	千m ³	182.81	179.94
		水消費量	千m ³	0.00	0.00
		水のリサイクル比率	%	0.00	0.00
		水域への有害排液の排出量	千m ³	0.00	0.00
		水の排水量	千m ³	182.81	179.94
		生産単位別水使用量(1アラーム警備契約あたりの水使用量)	L/件	96.88	101.49
	紙	紙消費量	t	397.04	391.88
	大気	窒素酸化物排出量	t	3.24	3.97
		硫黄酸化物排出量	t	0.00	0.00
		揮発性有機化合物排出量	t	0.00	0.00
		一酸化炭素排出量	t	0.00	0.00
		メタンガス排出量	t	0.00	0.00
		オゾン層破壊物質排出量	t	0.00	0.00
		PM排出量	t	0.16	0.24
	廃棄物	有害廃棄物量	t	0.00	0.00
		総廃棄物量	t	5,220.26	4,524.79
産業廃棄物量		t	2,768.94	2,205.25	
廃棄物回収(リサイクル)量		t	435.00	308.00	
埋立地への廃棄量		t	31.33	27.41	
汚染	有害物質漏流回数	回	0	0	
コンプライアンス	環境違法罰金回数	回	0	0	
マネジメント	ISO14001 認証サイト	箇所	9	9	
ガバナンス	GHG排出量第三者検証(J-VETS)	Y/N	Y	Y	
原単位	売上高(百万円)当りGHGスコープ1+2排出量	t/百万円	0.14	0.15	
	1従業員当りGHGスコープ1+2排出量	t/人	2.58	2.61	
	1メガワット当りGHG排出量	t/MWh	0.00	0.00	
	車両1台当りGHG排出量	t/台	5.32	5.49	
	売上高(百万円)当り水消費量排出量	千m ³ /百万円	0.46	0.46	

セキュリティ事業グループとは、CO₂排出量削減をKPIとする以下の26社です。

- | | | |
|-------------|--------------------|-------------------|
| ・セコム株式会社 | ・セコムジャスティック株式会社 | ・セコムスタティック西日本株式会社 |
| ・セコム上信越株式会社 | ・セコムジャスティック上信越株式会社 | ・セコムスタティック琉球株式会社 |
| ・セコム北陸株式会社 | ・セコムジャスティック北陸株式会社 | ・セコムテクノ上信越株式会社 |
| ・セコム山梨株式会社 | ・セコムジャスティック山梨株式会社 | ・セコムテック山陰株式会社 |
| ・セコム三重株式会社 | ・セコムジャスティック山陰株式会社 | ・セコムアルファ株式会社 |
| ・セコム山陰株式会社 | ・セコムジャスティック高知株式会社 | ・セコム工業株式会社 |
| ・セコム高知株式会社 | ・セコムジャスティック宮崎株式会社 | |
| ・セコム宮崎株式会社 | ・セコムスタティック北海道株式会社 | |
| ・セコム琉球株式会社 | ・セコムスタティック東北株式会社 | |
| ・セコム佐渡株式会社 | ・セコムスタティック関西株式会社 | |

2013年度環境会計 セキュリティ事業グループ26社

セコムでは、環境保全に要した投資額・費用と効果を定量的に把握して、より適切な環境保全活動を行うために「環境会計」に取り組んでいます。

- ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」に準拠して、作成しています。
- ・環境保全効果は、セキュリティ事業グループ26社における直接的なインプットとアウトプットの合計で、「将来の見なし削減効果」や「製品の省電力化によるお客様ご使用時の削減効果」は含みません。

環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組み内容	環境保全コスト		
		投資額	費用額	
事業エリア内コスト	公害防止 --大気汚染、騒音、振動防止等	0	15,832	
	地球環境保全 --温暖化、オゾン層破壊防止等	車両燃料使用量の削減	0	0
		光熱使用量の削減	9,006	99,977
	資源循環 --資源の効率的な使用、リサイクル等	省資源・ペーパーレス化	70,977	116,331
廃棄物処理・処分			166,712	
上流・下流コスト	グリーン調達、グリーン購入	0	0	
	サプライチェーンへの働きかけ	0	0	
	機器の回収、リペア・リサイクル	0	210,600	
管理活動コスト	広告、教育、事業所緑化等	2,035	17,135	
研究開発活動	環境保全に資する製品の研究開発等	0	14,555	
社会活動コスト	地域環境支援、緑化、寄付等	0	0	
環境損傷対応コスト	自然修復、損害賠償等	0	0	
その他のコスト	排出権取引(東京都CAP&TRADE)	0	512	
合計		82,018	641,654	

費用額には、減価償却費を含んでいます。

環境保全効果

効果の分類	環境パフォーマンス(単位)	2013年度	2012年度	増減
事業活動に投入する資源	エネルギー投入量(GJ)	940,497	940,711	-214
	水資源投入量(千m ³)	183	180	3
	紙資源(コピー用紙A4換算 千枚)	99,261	97,969	1,292
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物	温室効果ガスGHG(t-CO ₂)	56,760	56,866	-106
	窒素酸化物排出量(kg)	3,240	3,968	-728
	PM排出量(kg)	157	239	-83
	排水量(千m ³)	183	180	3
	総廃棄物量(t)	5,220	4,525	695
	最終埋め立て処分量(t)	31	27	4

環境保全対策における経済効果

(単位:千円)

効果の内容	2013年度	
収益	有価物の売却益	3,667
費用削減	省エネルギーによる費用削減額	35,036
	リサイクルによる機器調達費用の削減額	387,035
	電子化に伴う費用削減額	178,167
合計		603,905